

# 架け橋

「社会教育士」は、社会教育主事講習等規程の一部改正によって令和2年度から始まった制度です。このロゴは支える学びの先にある多様な人々が連携・協働する様子を表しています。

社会教育における学びは、色も形も違う人と人、組織と組織などを、色も形も多様なまま、つながりを作っていきます。



社会教育士

## 第1回上都賀地区現職教員社会教育主事会役員研修会報告

令和5年5月23日(火)に上都賀庁舎にて開催されました。始めに、本年度の抱負として、丹治良行会長から、

- ◆ 社会教育主事有資格教職員同士の『つながりの強化』
- ◆ 学校運営協議会を円滑に推進していくために必要な『継続した学び』を大切にしていきたいと思います、というお話がありました。

また、その後のワークショップでは、「**キーパーソンに火を付けろ!!大作戦**」と題して、本地区の有資格教職員が各校で活躍できるための作戦会議を行いました。役員同士でワイワイと考えた結果、様々なアイデアが出てきました。近いうちに一つでも実現できるというですね♪

次の課題から一つ選び、その課題解決のために**上現教として**何ができるかを考えてください。

- ① 有資格者同士の情報交換の場がない
- ② 会として主体的な研修の場がない
- ③ 会員向けの情報発信の場がない
- ④ その他

コロナ禍を経て出てきた課題



- ・学校や地域で取り組んだちょっとした連携場面を、インスタグラムで紹介!
- ・情報共有だけでなく、各種参考資料もリンクできるといいね!

- ・ZOOM研修とし、多くの方が参加できるようにする!
- ・会員同士が共通の話題(食べ物・お店)を持てるようなスタンプカードを作る!

- ・新有資格者にやりたい研修を考えてもらう!
- ・みんなで昼食を食べたい!

- ・各校のコミスクの取組がわかるように、クラウドを利用した情報共有!
- ・他地区の先進事例を紹介!

## 全国フェス巡り♪



私は  
二刀流

3年担任  
地域連携教員



日光市立大沢中学校  
渡邊 裕子 教諭

私の生きがいの一つは、ロックフェスです。フェスは、名前も知らない、職業も年齢もばらばらな人たちが、好きなものを通してつながることができる場です。その場で感じる一体感はとても魅力的で、全く知らない人と一緒に盛り上がることもあります。お互いに共通のものを持っていることがわかれば「つながることは意外と難しいことではない。」と感じます。たった一つの好きなものでたくさんの人と助け合えたり笑い合えたりする…。とてもすてきなことです。今年はコロナ禍で会えなくなっていた仲間たちとの再会をとても楽しみにしています。

私は現在、大沢中学校で3年生の担任と地域連携教員を担当し、充実した日々を送っています。「社会教育は日常の中に埋め込まれている」という社会教育主事講習での言葉を聞いてから、生徒と共に過ごす日常が彼らの将来にとってかけがえのないものだと感じるようになりました。先日第1回学校運営協議会が開かれ、司会、ファシリテーターをする機会をいただきました。「学校と地域と、ともに」をテーマに、地域の方と楽しく考え意見を交換することができました。

# こんな連携・協働があります!



公民館 (コミュニティセンター)、地域のつながりづくり組織、地域の無形民俗文化財

## 《連携事例》北押原小・中学校との連携・協働活動

〈協働場面(例)〉

- 総合的な学習の時間
- 技術・家庭科
- 学校行事
- 児童・生徒会活動
- 部活動
- クラブ活動 等

### ①北押原地区公民館(コミュニティセンター)

#### ●公民館事業(年8回程度)

・物語朗読・人形劇・パステル絵画・粘土制作等

### ②北押原地区コミュニティ推進協議会

#### ●敬老会事業(北押原中体育館で)

### ③北押原地区青少年育成市民会議

#### ●あいさつ運動

…朝、北押原小・中学校で登校児童・生徒へあいさつ

#### ●花壇整備「花いっぱい活動」

…地域の方々、中学生、鹿沼南高校の先生と生徒の参加

### ④北押原地区の文化財

#### ●生子神社の泣き相撲

#### ●奈佐原文楽

…小中学校で奈佐原文楽を学ぶ

例) 小学校のクラブで年10回の学習  
中学校の部活動



## 地域組織・団体は「学びの宝宝箱や〜」



公民館は、地域住民のために社会教育を推進する拠点施設として中心的な役割を果たしています。また、住民同士が集い、学び、つながることを促し、人づくり・地域づくりに貢献しています。公民館は、そのような地域の拠点として実生活に役立つ学習や芸術・文化に関する事業や講座も行っており、地区内の各種団体の活動拠点施設にもなっています。学校の教育活動と連携可能な講師や団体があるかもしれません。「地域の方と一緒に」「地域の方に学ぶ」活動の幅がきっと広がりますよ!

## 第1回学校運営協議会の様子から

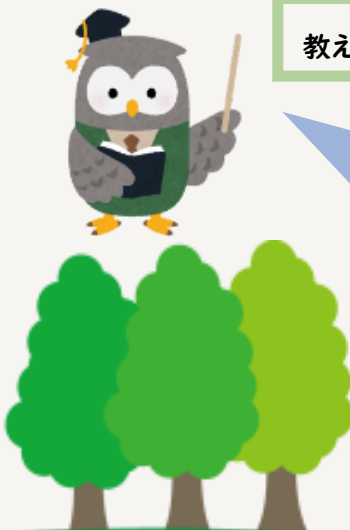
## 鹿沼市立西中学校

5月12日(金)に実施された第1回学校運営協議会では、会に先立ち生徒と委員との意見交換会を実施しました。地域と学校の代表者13名に生徒7名が加わり「こんな西中にしたい」というテーマでスタートしました。3つのグループに分かれて話し合う中で、生徒からは「あいさつができるようにしたい。」「相手の目を見てあいさつしたい。」「聞こえないのはあいさつにならない。」等の意見が出され、委員さんともこれからの西中について熟議することができました。

運営協議会の委員長からは「最近の中学生と話す機会がない中、今日の姿にとっても感動した」との感想をいただきました。地域の大人と話すことは実は普段の生活の中では少ないのかもしれません。今回の意見交換会が、育てたい資質・能力のうちの一つである「伝える力」の育成にもつながり、生徒意見を学校運営に取り入れることが、学校と地域を盛り上げる着火剤になると感じました。



## 教えて!フクロウ先生 コミ・スクって何をすればいいの?



### 💡「あいさつ」+「ワントーク!」

コミュニティ・スクールは、学校運営に地域の声を積極的に生かし地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことが目的です!

今年度からの全校導入を機に、社会教育主事有資格教職員や地域連携教員の皆さんには、全教職員の先頭を切って地域の方々との「顔の見える関係づくり」に一役買っていただけないでしょうか。

そのための第一歩として、「あいさつ」+「ワントーク!」を提案します!そこからはじまる学校づくりです。

「こんにちは!いつも読み聞かせありがとうございます  
ございます!最近暖かくなってきましたね~」  
「そういえば、商店街の飾りがきれいですね。  
何かイベントでもあるんですか?」



発行：上都賀教育事務所ふれあい学習課  
協力：上都賀地区現職教員社会教育主事会  
(編集委員：青木、片桐、廣瀬、小出、山本)  
問い合わせ：鹿沼市今宮町 1664-1 TEL.0289-62-7167  
kamitsuga-fureai@pref.tochigi.lg.jp